



独立歩兵
第三
百四十八
大隊

文唱堂納

起案用紙 3 号

1398

12

戰史資料

昭和二十一年一月九日調製
獨立歩兵第三四八大隊

交付
21.1.14
記録

21.1.14

1399

戦史資料

固有部隊名 獨立歩兵第百四十八大隊

所在地 南洋群島(バヌア諸島)バヌア本島

獨立歩兵第百四十八隊長陸軍中佐由良四万吉

一 編成裝備関係

1. 自置部隊及関係部隊編成人員兵器彈藥

編成人員 固有部隊約八五〇名(現地應召兵約二五〇名合ム)

指揮下部隊約千五〇名(海軍部隊ヲ包含ム)

兵器彈藥 25ニニ MG一〇(一銃二付二〇〇〇)三八四(一付約五〇〇)

TA四(一付約五〇〇)

機関砲一五(二〇銃四〇銃一三銃ノ單裝連裝ヲ合ム)

2. 職員表 別紙ノ如シ

3. 人員兵器等ノ増減関係

人員 昭九六六一(編成完結)約六〇〇名

昭九六八(現地應召者)約八五〇名

昭九六八(終戦時)約七五〇名

昭九六八(帰還時)約四〇〇名

兵器 増減ナシ

4. 台湾人 鮮人 現地住民使役関係

関係ナシ

二 履歴ノ概要

昭九六一ニ編成完結以來バヌア本島ノ「アイリキ」カスパンアルメテン地

区ノ警備ニ任シアリタルモ昭九六八西地ニ隊長(長十五聯隊長福井大佐)

ノ指揮下入り一部海軍部隊ヲ指揮下ニシメラレ主トシテ「アイリキ」

カスパン地ニ防備ニ在ゼリ爾後引續キ同地ニ警備ニ任シ終戦ニ

入り今次内地段還ニ至ル

三 指揮隷屬関係其ノ変遷ノ概要

指揮関係 昭九六一ニ編成完結

昭九九二 西地区隊長ノ指揮下ニ在ル

隷屬關係 昭九九二 編成完結

昭九九二 第三中隊(隷下)ヲ今野小地区隊長ノ指揮

下ニ入レシム

昭九一三二 右ノ指揮下ヲ脱シ原所屬ニ復歸ス

四 作戰準備關係

ノ 作戰計畫ノ概要

イ 防禦方針

バヲ本島ノ西南部ヲ準備ニ任シ上陸ヲ企圖スル敵ヲ水際ニ於テ果滅シ状況上ヨリ得ズヤ降ヲ敢行セバ遊撃據拠ニテ敵上陸ニ夜一舉ニ压倒殲滅ス尙更ニ状況不利ニ至レバ後方據拠ヨリテ熾烈ナル肉攻斬込ニヨリテ之ヲ撃滅ス

ロ 防禦配備

水際ニハ堅固な據拠ヲ設ケテノ後方ニ遊撃據拠ヲ構築シ更ニ

後方ニ據拠ヲ設ク

右ノ外中隊部ニ通スル本道ニ兩側ニ堅固な對戰車支撐架ヲ設ク陣地ノ状況

イ 起工時期 所要人員 使用資材

起工時期 昭九六三 編成完結ト同時ニ着キス

所要人員 編成人員概ネ三分ノ二

使用資材 殆ド現地資材ヲ使用其ニ他築城資材(鉄筋鋼)

若干ヲ併用

ロ 完成時期及強度

陣地構築ハ編成完結後直ニ着手シ概ネ二三月間ニテ應急的

陣地ヲ構築ス爾後終戦ニ至ル迄補備増強作業ヲ實施ス

陣地強度ハ概ネ丙程度ナリ

ハ 敵攻撃ニ依ル破壊補修状況

敵攻撃ニ依ル破壊補修ハ殆ド皆無ナレド築城資材不足状況

東京小澤精

陸軍

ト多濕ノ風土ニ左右セザ若干崩壊ノ止ムヲ得ザル場合ヲ考慮シ缺日
ナク補修増強ヲ実施シテアリタリ

一 港湾施設 飛行場施設

兩者共使用價値ナシ

三 作戦準備ニ関スル主要ナル命令

畧ス

四 軍需品ノ集積状況

軍需品ハ集積夫々ジヤゲル内ニ防濕ト遮蔽ノ完壁ヲ期シ集積
セルモ吸濕ニ依ル被害甚カラス

現地自治ハ農耕・漁撈・製塩等ニ全カヲ舉ゲ実施シテアリタルモ
十全ノ域ニ達セズ

五 訓練ノ状況

主トシテ各方面ノ戦訓ヲ基調トシ遊撃戦法即チ小人数ヲ以テ取行
スル肉攻新込ノ神技練成ヲ重々的ニ実施シテ着々進歩向上ノ途ヲ

辿リテアリタリ

五 戦況ノ状況

ノ参加先主要ナル作戦(戦斗)ノ概要

部隊ハ本島西南部ノ準備ニ任シ戦斗ハ小銃・衝鋒槍・機関銃
以テ実施セル対空戦トシテナリ

六 機動部隊未龍衣状況

敵機動部隊ハ本島周辺ヲ遊ギン上陸ノ機ヲ察シガ如キ観アリタ
ルモノアリニテ自の上陸後連日ヨリソノ水道ヲ碇迫基地トシテ同島

ニ対シ海軍作戦ヲ実施シテアリタリ

七 敵機ノ未龍衣状況

敵機ノ連日連夜上空ヲ乱舞シ熾烈ナル銃爆襲ヲ取行テリ尚機體
ハ主トシテ破損ニテ照九ハ一照九九ノ間大型機未龍衣「ゴール」島

及飛行場ニ対シ爆襲ヲ取行セリ尚其後終戦時迄大型機ハ更ニ
跳梁シ主トシテ「ゴール」アラカヘサシ地ニ対空陣地ニ対シ攻撃ヲ續行セリ

東京小津納

関東上陸地支局

昭和陸軍部 第九日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

南洋群島ハルマヘラ島

職官 陸軍中佐

終戦時ノモリヲ記ス

所屬部隊

陸軍歩兵第四大隊

氏名 由良 四方 士郎

職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス

支那軍要以降ニ於テ自巳ヲ略ス

中隊長 技術部 歩兵 兵曹 政平 中尉 之助 去隊 陸軍 歩兵 第四 大隊 長

職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス

所在部隊ノ編成年月日

昭和十九年一月十日

及編制表

編制ハハルマヘラ島駐留ノ各隊別表(ハルマヘラ島)ニテ各方向ノ戦術的方針ヲ示シテ編成シ

所屬部隊ノ概要

ハルマヘラ島ノ西南南角ニ陸地ヲ占領シ陸地ヲ逐次確保シ敵ノ侵入ニ備ヘ一方一帯ヲ以テ之ヲ支配ス

所屬部隊ノ概要

終戦(又ハ主カノ戦斗終了)ノ状況

ハルマヘラ島ハ昭和十九年一月以降補給絶

終戦時ノ状況ヲモリテ記ス

その他ノ参考事項

山口物 連絡先(在島部)

備考

備考

俘虜ニ記載セシメテ一復員省史実部ニ送付ス



関東上陸地支局

昭和二十一年

一月十八日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

南洋群島分島本部島

官 副官

終戦時ノ
モリヲ記ス

所属部隊

獨逸軍第8大隊

名 陸軍中尉 神吉 整

天那事変以

降ニ於テ

自己ノ略ヲ

昭一六、三三六 南西島陸軍卒業
昭一七、三三一 中部島陸軍(非路)ニ入隊
昭一八、三三一 陸軍少尉
昭一九、三三三 命副官
昭二〇、三八〇 中尉
昭二一、一七 内地陸軍
小島島嶼隊

所在部隊

昭一九、六一三 編成定節

編成年月日

本部 小銃中隊 三 MG中隊 IA中隊

及編制裝備

輕機 三 MG 一 TA 四

概要

所属部隊

昭一九、六一三 編成定節

作戰経過

昭一九、六一三 部隊編成定節

概要

昭一九、六一三 部隊編成定節

終戦(又ハ五)

力ノ戦斗終了ノ状況

帰郷(又ハ)

連絡先

其他ノ参

考事項

備考

序校ニ記載セシモノ才一紙員省史実部ニ送付ス

昭一九、六一三 部隊編成定節
昭二〇、一七 内地陸軍
昭二一、一七 内地陸軍
昭二二、一七 内地陸軍
昭二三、一七 内地陸軍
昭二四、一七 内地陸軍
昭二五、一七 内地陸軍
昭二六、一七 内地陸軍
昭二七、一七 内地陸軍
昭二八、一七 内地陸軍
昭二九、一七 内地陸軍
昭三〇、一七 内地陸軍
昭三一、一七 内地陸軍
昭三二、一七 内地陸軍
昭三三、一七 内地陸軍
昭三四、一七 内地陸軍
昭三五、一七 内地陸軍
昭三六、一七 内地陸軍
昭三七、一七 内地陸軍
昭三八、一七 内地陸軍
昭三九、一七 内地陸軍
昭四〇、一七 内地陸軍

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

昭一九、六一三 部隊編成定節

関東上陸地支局

昭和十一年一月八日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地 南洋羣島バロオ諸島バロオ本島 陸軍中尉

所属部隊 獨立歩兵第三四八大隊 氏名 三原 菊雄

職名変更及モウラ記ス
昭和十七年一月第一師團第五十二聯隊に入官。
昭和十八年八月首内地出發バロオ諸島にバロオ島に到着輸送整備
任す。昭和十八年十一月一日陸軍少尉に任官。
昭和十九年六月十二日獨立歩兵第三四八大隊に轉属。本部附トシ
テ作戰に従事。昭和二十年八月廿日陸軍中尉に任官。同年十二月
二十日重傷。昭和二十一年一月六日内地に上陸。

所在部隊 編成年月日
(一) 昭和十九年六月十二日。
及編制裝備 (二) 本部
一般中隊 (三) 1 LG (22) 合計
歩兵砲中隊 (1) TA (4) 砲 (4)
林南銃中隊 (1) MG (10)

所屬部隊 所屬部隊
作戦経過 編成定結作直チに配備。就テ昭和二十年八月五日、
終戦ニ到ル間、全ク本島に於テ「ト」ト「カ」カ「バ」地ニ
テ、海軍機雷、警備に従事ス。

終戦(又ハ五 力ノ戦斗終了) 終戦ノ事ヲ令釋対策確立、爲農耕作業ニ
従事ス。
昭和二十一年十一月二十日、半船一乘船。(LSI)

備考 備考
將校ニ記載セシメ、才一復員省史実部ニ送付ス

備考 備考
石川 縣

備考 備考
石川 縣

備考 備考
石川 縣

備考 備考
石川 縣

備考 備考
石川 縣

備考 備考
石川 縣

備考 備考
石川 縣

備考 備考
石川 縣

備考 備考
石川 縣

関東上陸地支局

昭和二十年一月八日

史実調査参考資料報告

摘要

南洋群島パラオ島パラオ本島

職官

陸軍主計中尉

独立歩兵第三大隊

氏名

細野真令

終戦時ノ
モノヲ記ス

支那事変以
降ニ於テ
自己ノ略
ヲ

- 一 昭和十七年十月日 東部六三部隊ニ入隊
- 二 昭和十九年八月日 在陸軍主計大尉独立第三大隊隊ヲ命ジ
- 三 昭和二十年八月十日 在陸軍主計中尉
- 四 昭和二十年一月七日 浦賀港着

職ノ変更及
主ナル事
戰年名ヲ記
ス

所在部隊
編成年月日
及編制裝備
ノ概要

- 一 昭和二十年一月十日 部隊編成
- 二 編成裝備
 - (1) 本部 一 般中隊 三 機銃中隊 一
 - 歩兵砲中隊 一
 - (2) 一般中隊 4 合ヤリニ
- 機銃中隊 4 合ヤリニ
- 歩兵砲中隊 4 合ヤリニ

最終ノ所屬
部隊ヲ記ス
ニ尚ソノ以テ
ノ所屬部
隊ノ介ヲモ
概記ス

所屬部隊
作戰經過
ノ概要

一 昭和二十年六月十日 部隊編成以來 南洋
群島パラオ島パラオ本島ガスパン村、アイリノキ村
アムテン村、カムセツ村ニ於テ陣地構築等ニ當リ

終戦ノ又ハ主
力ノ戦斗終
了ノ後ノ状況

- 一 現地自話
- 二 戦後渡川作業

帰還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

帰郷(又ハ
連絡)先

東京都

其他ノ参
考事項

備考

時校ニ記載セリ

以員省史実部ニ送付ス

関東上陸地支局

昭和二十一年一月

八日

史実調査参考資料報告

南洋群島地方官職官

備之歩兵第三十八大隊氏名

支那事変以降三於自己略

一、一九四二、一、一、軍醫長 藤原 隆之助
一、一九四二、一、二、隊長 藤原 隆之助
一、一九四二、一、三、副隊長 藤原 隆之助
一、一九四二、一、四、中隊長 藤原 隆之助
一、一九四二、一、五、小隊長 藤原 隆之助
一、一九四二、一、六、班長 藤原 隆之助
一、一九四二、一、七、排長 藤原 隆之助
一、一九四二、一、八、中士 藤原 隆之助
一、一九四二、一、九、下士 藤原 隆之助
一、一九四二、一、一〇、兵 藤原 隆之助

所在部隊
編成年月
日及編制表
備、概要

一、一九四二、一、一、編成表
一、一九四二、一、二、日及編制表
一、一九四二、一、三、概要

所屬部隊
作戦経過
概要

一、一九四二、一、一、所屬部隊
一、一九四二、一、二、作戦経過
一、一九四二、一、三、概要

終戦(又ハ主
力ノ戦斗終
了)於状況

一、一九四二、一、一、終戦(又ハ主力ノ戦斗終了)於状況
一、一九四二、一、二、終戦(又ハ主力ノ戦斗終了)於状況
一、一九四二、一、三、終戦(又ハ主力ノ戦斗終了)於状況

帰郷(又ハ運
送先)

神奈川縣

其他ノ参
考事項

一、一九四二、一、一、其他ノ参考事項
一、一九四二、一、二、其他ノ参考事項
一、一九四二、一、三、其他ノ参考事項

備考

一、一九四二、一、一、備考
一、一九四二、一、二、備考
一、一九四二、一、三、備考

摘要

終戦時ノ
モリヲ記ス

職ノ事更
主ナル参
戰年名ヲ記
ス

最終、所屬
部隊ヲ主ニ
記シ、以テ
所屬部隊
ノ分ヲ記
ス

帰郷輸送
ノ状況ヲ主
ニ記ス

関東上陸地支局

昭和二十年一月八日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

南河内郡 八尾町 本名

職官

陸軍軍醫少尉

所属部隊

天名

片山 靖雄

終戦時ノ
モノヲ記ス

支那事変以
降ニ於テ
自己ノ略

昭和十八年八月 軍医予備員
同年 同月 三日 教育終了 任三浦役陸軍衛生軍曹
昭和十八年十一月 三日 陸軍衛生軍曹
昭和十九年一月 九日 南河内郡 八尾町 本名 片山 靖雄
向付板

職ノ変更及
主ナル参加
戦年名ヲ記
ス

所在部隊
編成年月日
及編制裝備
ノ概要

昭和十九年六月 十二日 陸軍衛生軍曹
二編制裝備
一 本隊 一般中隊 三 機銃隊 一 歩兵中隊 一
二 一般中隊 合計 三 歩兵中隊 TA 四 B 四
機銃隊 TA 一。

最終所属
部隊ヲ記ス
ニ尚ソノ以テ
ノ所属部
隊ノ介ヲモ
ノ概記ス

所属部隊
作戰經過
ノ概要

昭和十九年六月 十二日 部隊編成未定
三河 南河内 八尾 町 本名 片山 靖雄
アノ時 片山 靖雄 八尾 町 本名 片山 靖雄
ニ於テ 陣地構築
ニ参加ス

歸還輸送
ノ状況ヲモ
ノ併記ス

終戦(又ハ五
力ノ戦斗終
了)ノ状況

一 現地目録
二 戦後復旧ノ作業

歸還輸送
ノ状況ヲモ
ノ併記ス

歸郷(又ハ
連絡)ノ先

長野縣

其他ノ参
考事項

備考

將校ニ記載セシメテ 人員有史実部ニ送付ス

関東上陸地支局

昭和二十一年一月八日

史実調査参考資料報告

南洋群島パナマ

官 第一中隊長

所属部隊 獨立歩兵第三四八大隊

名 陸軍中尉野村三郎

支那軍受以
降ニ於テル
自己ノ略ノ

昭和十九年二月十日 鷹呂
昭和十九年九月十日 中四甲團司令部
昭和十九年五月三日 獨立歩兵第三四八大隊中隊長

職ノ変更及
主ナル参加
戦斗名ヲ記
ス

所在部隊
編成年月日
及編制裝備
ノ概要

昭和十九年六月十日 高次
一級中隊長 中隊長 (予中隊長 19 三 11 14 100)
中隊長 一予中隊長不明
14 中隊長 一予中隊長不明

所属部隊
作戦経過
ノ概要

最終ノ所属
部隊ヲ主ニ
ニ尚ソノ以テ
ノ所属部隊
ノ今ヲモ
ノ概要

終戦ノ又ハ五
力ノ戦斗終
了ノ状況

現地自治

帰還輸送
ノ状況ヲモ
ノ併記ス

帰郷(又ハ
連絡)先

宮城縣

其他ノ参
考事項

備考

将校ニ記載セシメテ復員省史実部ニ送付ス

関東上陸地支局

昭和十一年一月八日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地 南洋群島バウ才

官 第一中隊附

終戦時ノモノヲ記ス

所属部隊

陸軍少尉 神保道村

職ノ変更及主ナル参加戦ノ名ヲ記ス

大那事変以降ニ於ケル自己ノ略

昭和十七年二月一日 東部島上陸隊入營
五月十日 野戦砲兵学校入校
十月二十六日 同校卒業
十八年三月 東部島上陸隊附
十九年三月 東部島上陸隊附
十九年六月十日 編成

職ノ変更及主ナル参加戦ノ名ヲ記ス

所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

一 陸中隊 三ヶ中隊 (一ヶ中隊 150名 三 MW 四 四 名)
二 陸中隊 一ヶ中隊 不明
三 陸中隊 一ヶ中隊 不明

所属部隊ノ作戦経過ノ概要

南洋群島バウ才島本島ノ整備

最終ノ所属部隊ヲ主ニ示シテ尚ソ以テ所属部隊ノ介ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力ノ戦斗終了)ノ状況

現地自治

帰還輸送ノ状況ヲモ併記ス

帰郷(又ハ連絡)先

富山縣

其他ノ参考事項

備考

時校ニ記載セズノ才 役員者史実部ニ送付ス

史実調査参考資料報告

所在地

南洋群島パラオ本島

職官 中隊長

所属部隊

独立歩兵第三四八大隊

氏名 陸軍大尉 荻野光忠

支那事変以降
於ケル自
己ノ略

職ノ変更及
主ナル参加
戦斗名ヲ
記ス

所在部隊ノ
編成年月日
及編制装
備ノ概要

昭和十九年六月十二日
一部隊編成完結
昭和十九年六月十二日
二編成装備
本部一 一般中隊三 中隊一 中隊一

所属部隊
作戦経過
ノ概要

昭和二十年六月十二日部隊編成以東南洋群島「パラオ」島「パラオ」本島西海岸「アイミリーキ」ー「ガスパン」ー「アルマテン」ー「カムセツ」ニ於テ陣地構築並ニ警備

終戦(又ハ主
力ノ戦斗終
了)ノ状況

一 現地自活
二 戦後復旧作業

帰還輸送
ノ状況ヲモ
研記ス

帰船(又ハ
連絡)ノ先

新浮泉

其他ノ参
考事項

備考

浮城ニ記載セシメテ一復員省史実部ニ送付ス

関東上陸地支局

昭和二十一年一月八日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

南群島ハラオ島ハラオ本島

職官

陸軍中尉

限敏典

終戦時ノモノヲ記入ス

所屬部隊

独立歩兵第百四十八大隊

反名

職変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス

支那事変以降ニ於テ自己ノ略ヲ

一昭和十七年四月十日歩兵第七十九聯隊補充隊ニ入隊
二昭和十八年十二月一日任陸軍少尉歩兵第七十九聯隊附ヲ命ゼラル
三昭和十九年二月四日歩兵第七十九聯隊附ヲ命ゼラル部隊追及
ハラオニ於テ轉属
四昭和十九年六月十二日独立歩兵第百四十八大隊附ヲ命ゼル
五昭和二十年八月二日任陸軍中尉
六昭和二十一年一月七日浦賀港着

所在部隊
編成年月日
及編制裝備
概要

一昭和二十一年六月十二日部隊編成
二編成裝備
①本部 一般中隊 三 機関銃中隊 一
歩兵砲中隊 一
②一般中隊 計合計 二二
機関銃中隊 MG 合計 一〇
歩兵砲中隊 TA 四 PAA 四

最終所屬部隊ヲ示シニ尚ソノ以テ所屬部隊ノ介ヲモ概記ス

所屬部隊
作戰經過
概要

一昭和二十一年六月十日部隊編成以來停戦ニ至ル間南洋群島ハラオ島ハラオ本島カスン村アイミリーキ村アルマテン村カムセツ村ニ於テ陣地構築並ニ警備

所屬部隊ノ介ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力)戦斗終了ノ後状況

一現地自治
二戦後復旧作業

帰還輸送ノ状況ヲモ併記ス

帰郷(又ハ連絡)先

福岡縣

其他ノ参考事項

備考

将校ニ記載セズノ者 復員者史実部ニ送付ス

関東上陸地支局

昭和二十一年一月

日

史実調査参考資料報告

職名 小隊長

氏名 陸軍少尉 白石一夫

摘要
終戦時ノ
モヲ記ス

所在地
南洋群島ハコ才島

所属部隊
獨立混成第五十三旅団
獨立歩兵第三四八大隊

支那事変以
降ニ於テ
自己ノ略ヲ

昭一七、二二 現役兵トシテ第百二十ニ聯隊補充隊入隊
昭一七、三〇、三三 陸軍見習士官 同隊勤務ヲ命ゼラル
昭一八、一一、二八 南洋才大支隊機回銃小隊長トシテ内地發
昭一九、二六、ハコ才着
昭一九、六、二二 小隊長トシテ獨立歩兵才三四八大隊ニ轉居編入
昭二〇、八、二〇 陸軍中尉 昭二一、一、七 内地陸

職ノ変更及
主ナル参加
戦斗名ヲ記
ス

所在部隊
編成年月日
及編制裝備
概要

昭一九、六、二二 編成完結
大隊編成裝備ノ概要
本部一小銃中隊三 MG 隊
中隊編成裝備ノ概要 MG 隊
指揮班一小隊三 配属 MG 一小隊 IA 一分隊
小銃編成裝備 MG 一分隊 IA 一分隊
小銃分隊三 MG 一分隊 IA 一分隊 (海軍)

最終ノ所属
部隊ヲ主ニ
ニ尚ソノ以テ
ノ所属部
隊ノ分ヲモ
ノ概記ス

所属部隊
作戰経過
概要

自昭一九、六、二二「アルマテ」カムセツ地区ニ於テ陣地
構築並ニ訓練整備ニ任ジ中部太平洋作戦ニ参加
対空戦斗

ノ概記ス

終戦(又ハ五
力ノ戦斗終
了)ノ状況

一昭二〇、八、二五以降中隊主力ハ朝日村ニ於テ農産大隊ノ現地
自治ニ協力「アルマテ」「カムセツ」地区ハソノ一部ヲ以テ引続キ
陣内耕作ニ從事シ其ノ向爆発物除去作業ニ任ズ
二昭二〇、三、二八ハコ才島出港米船シ「丁八九」号ニ依リ
昭二〇、一、一七、浦賀上陸

帰還輸送
ノ状況ヲモ
ノ併記ス

帰還(又ハ
連絡)先

愛媛縣

其他ノ参
考事項

備考

将校ニ記載セシメ才復員省史実部ニ送付ス

関東上陸地支局

昭和二年一月八日

史実調査参考資料 報告

摘要

所在地

南洋群島、小笠原、本島

官 中隊長

所属部隊

獨立歩兵第三大隊

名 陸軍中尉 石川喜之雄

支那軍変化
降ニ於テ
自己、略テ

昭二七二二 歩兵第一二聯隊ニ入管
昭一八二二 陸軍少尉
昭一九二二 命歩兵中隊長
昭二〇八二 陸軍中尉
昭二一、二七 四代上陸

職ノ変更及
主ナル参加
戦斗名ヲ記
ス

所在部隊
編成年月日
及編制裝備
概要

昭一九二二 編成定括
本新 小銃中隊 山甲隊 山中隊
輕機 三 擲彈筒 山甲 山甲 TA. 山甲

所属部隊
作戰經過
概要

一 昭一九二二 部隊編成定括
二 昭一九二二
三 昭二〇八二
四 昭二一、二七

最長ノ所属
部隊ヲ主ニ
ニ尚ソノ以テ
ノ所属部
隊ノ介ヲモ
概記ス

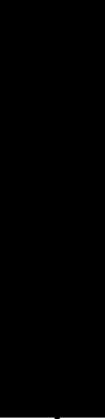
終戦(八五)
力、戦斗終
了ノ状況

一 昭二〇八二 以降引續キ、ガハニニ於テ現狀自返結
老食物除キ作業ニ従事シ、四代敗退ニ至リ
二 昭二〇八二 八才島ニ上陸 昭二一、二七 捕獲上陸
三 米船山形ニ依ル

帰還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

帰郷(又ハ)
連絡)先

福岡県



其他ノ参
考事項

備考

停校ニ記載セリ、復員省史実部ニ送付ス